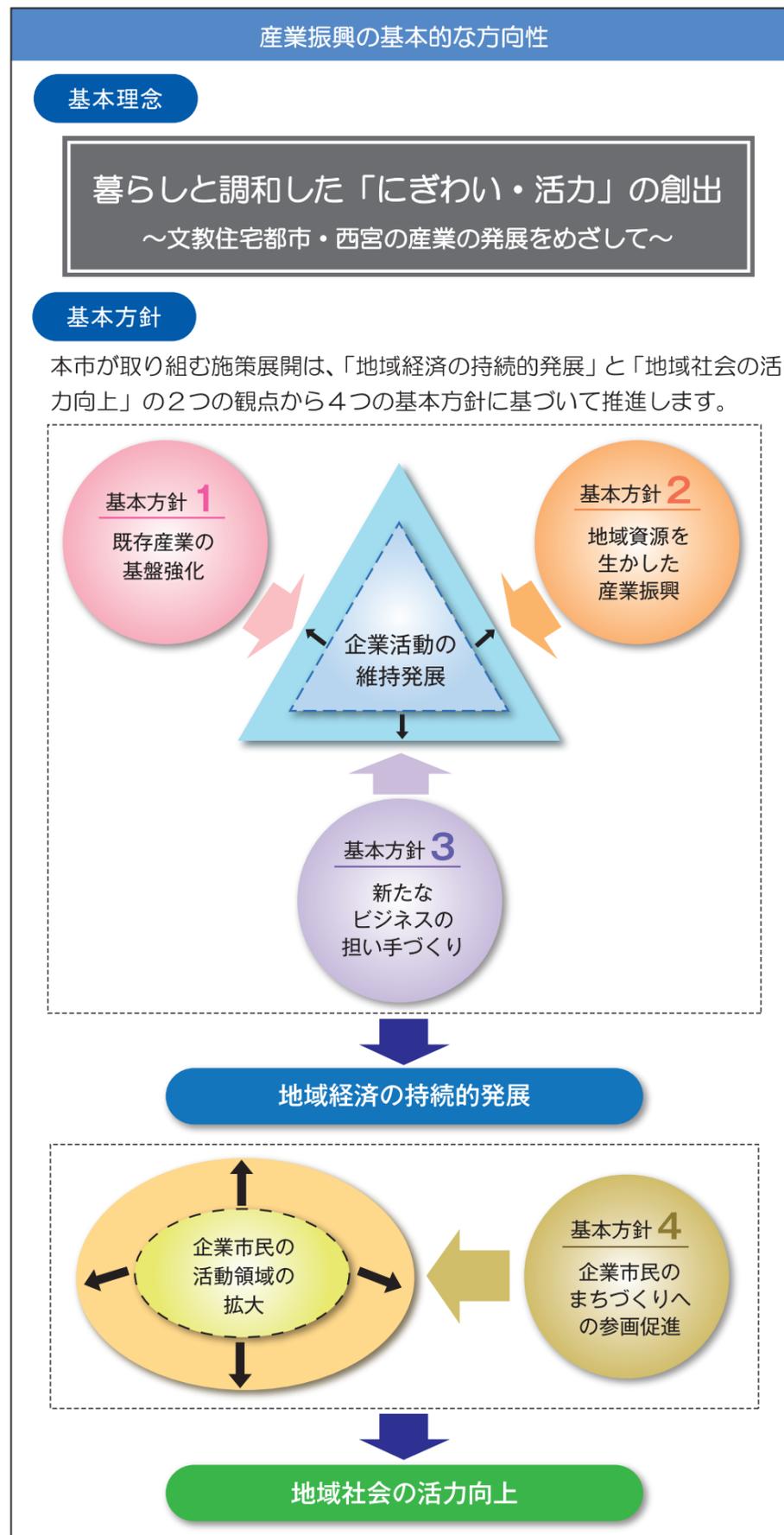


5. 協働について

計画の構成

本市産業の課題	
課題1	産業基盤の強化
課題2	競争力の高い産業構造の構築
課題3	産業と地域のブランド化
課題4	産業の新陳代謝の促進
課題5	人材の確保・育成
課題6	市民生活の維持・向上
課題7	企業市民としての活動領域の拡大



施策の体系	
基本方針1：既存産業の基盤強化	
1-1	がんばる中小・小規模事業者支援の充実
①	総合的な相談支援体制の強化
②	中小・小規模事業者への経営支援
③	円滑な事業承継の推進
④	表彰・顕彰等の推進
1-2	中核企業の立地・定着の推進
①	企業立地・定着の推進
②	地域イノベーション・プラットフォームの活用
基本方針2：地域資源を生かした産業振興	
2-1	地域資源を生かしたビジネスの振興
①	スポーツビジネスの創出
②	食を生かした産業の振興
③	食の流通拠点の整備
④	魅力ある西宮ブランド品づくりの推進
2-2	観光プロモーションによる都市ブランドの向上
①	多彩に楽しむ「まちなか観光」の創出
②	市内外への観光プロモーションの強化
2-3	市民生活を支え高める商店街等の振興
①	地域特性を生かした商店街等の振興
②	商店街エリアが担う公共的役割への支援
基本方針3：新たなビジネスの担い手づくり	
3-1	女性、若者、高齢者などが創業しやすい環境づくり
①	創業前後の切れ目のない支援
基本方針4：企業市民のまちづくりへの参画促進	
4-1	企業市民のまちづくりへの参画の促進
①	地域貢献活動への参画支援

産業振興による地域経済・地域社会への好循環

「文教住宅都市」を基調としたまちづくりを大切にしながら、雇用の場を創出し、にぎわいのあるまちを形成するなど、「産業」も西宮のまちを構成する重要な役割を担っています。

本計画は、「産業振興」により、本市の地域経済が持続的に発展するとともに、まちづくりに参画する「企業市民」が育ち、それにより、地域社会の活力が向上していくまちを目指すものです。そのような活力ある社会は、さらに産業活動にもプラスに作用する好循環をつくり出し、「文教住宅都市」としての魅力を一層高めることにつながります。

6. 保健医療について

救急ワークステーションとは

医療機関敷地内の専用スペースに救急隊を24時間365日待機させ、通常の救急業務を行いながら、医療機関と連携し、ドクターカーの運用や病院内で救急隊が救急専門医から直接指導を受けるなどの実習を行うことで、病院前救急救護体制の強化及び救急隊員の知識と技術の向上を図り、傷病者の救命率向上を目指す「救命」の拠点施設のことを言います。



他市の救急ワークステーション（イメージ）

（例）

- ・必要施設 … 事務所、研修室、仮眠室
消毒室、指令設備、車庫等
- ・延床面積 … 300 m²程度
- ・運用車両 … 救急隊1隊を運用

統合新病院に救急ワークステーションを設置する5つのメリット

1 救命率（社会復帰率）の向上

●救急ワークステーション設置本部（※1）の救命率（※2）実績

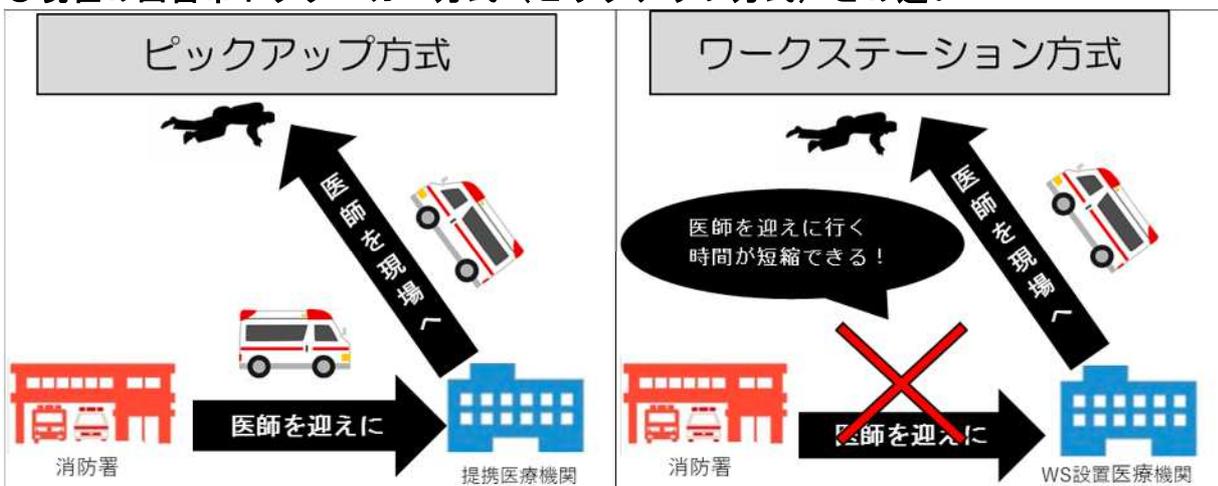
1ヶ月後社会復帰率(%)	H28	H29	H30	平均
救急ワークステーション設置本部	12.3	12.7	14.5	13.2
西宮市	11.4	5.8	7.1	8.1

※1 救急ワークステーションを設置し、24時間365日ドクターカーを運用している11消防本部

※2 一般市民の目撃があった心原性心肺停止傷病者の1ヶ月後社会復帰率

2 迅速なドクターカー運用が可能

●現在の西宮市ドクターカー方式（ピックアップ方式）との違い



西宮市のドクターカーでは医師を提携医療機関に迎えに行くのに時間を要しており、ワークステーション方式とすることで、医師の現場到着時間が短縮されます。